

平成21年度下半期財政の状況 (21年10月1日～22年3月31日)

市民の皆さんが納めた税金の使いみちと市の財政状況を毎年2回公表しています。今回は、21年度に実施した主な事業と、年度末における一般会計・特別会計の歳入・歳出予算の執行状況などをお知らせします。企業会計(水道事業)は「広報あきしま」7月1日号でお知らせします。

なお、数値はすべて22年3月31日現在のものです。21年度の歳入・歳出の執行は5月31日に確定するので、実際の決算額とは異なります。

一般会計

一般会計は、市税を主な財源とし、教育や福祉、小・中学校や公共施設の維持管理、道路の整備やごみ処理など、行政を運営する経費の大部分を賄う会計です。

21年度の予算現額は、41億7956万円です。執行状況は図1・図2のとおり、歳入では収入率が



▲新設された街路灯(市道昭島2号)

◎健康と福祉の充実
ヒブワクチン接種事業、新型コロナウイルス感染症対策事業、小荷田見

87.6%、歳出では執行率が88.1%となっております。決算では、歳入・歳出ともにおおむね予算額どおり執行される見込みです。

基本目標ごとの主な取り組み

◎明るい地域社会の形成
街路灯整備工事、災害対策用備品の購入、安全・安心まちづくり広報車運行事業の拡充などを行いました。

◎生涯学習の充実
小・中学校耐震化事業、スクーリング21事業、市民会館・公民館駐車場舗装等改修工事などを行いました。

◎循環型社会の形成
環境コミュニケーションセンター整備事業、昭と公園整備事業、住宅用新エネルギー機器等普及促進費補助などを行いました。

◎質の高い都市基盤整備
拜島駅自由通路整備工事、都市計画道路3・4号整備事業、拜島駅南口周辺の整備などを行いました。



▲拜島駅自由通路

◎産業の活性化
農産物栽培用ハウス及び果樹棚等の設置費補助、住まいの便利帳作成費補助、製造業課題解決支援事業などを行いました。

積立基金(貯金)

積立基金は、家計でいう貯金のことです。財源が不足する場合に備えるためや、将来計画している事業のために積み立てている資金で、金融機関への預金で運用しています。現在高は表1のとおりです。

基金の種類	現在高
財政調整基金	29億9416万円
特定目的基金	33億1835万円
その他	5億4322万円
合計	68億5573万円

※財政調整基金=財源の不足に備えるための基金(家計でいう貯金など)
※特定目的基金=公共施設整備など特定の目的のための基金(家計でいう学資保険や住宅購入資金積立など)

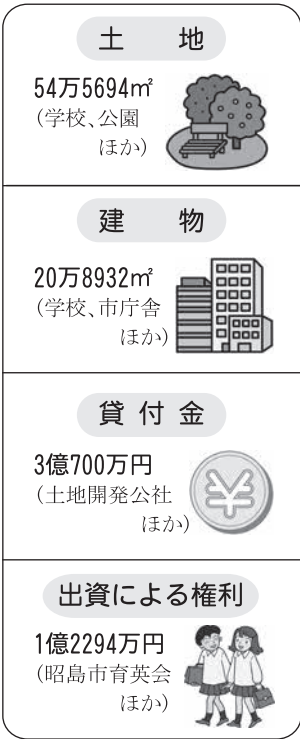
市債(借金)

市債は、家計でいう借金のことです。小・中学校や道路・公園などの公共施設は、長期的に利用するものであり、整備・改修には一時的に多額の資金が必要です。その資金を将来の市民の皆さんにも公平に負担していただくという考えで、借入れを行っています。現在高は表2のとおりです。

区分	現在高(元金の残高)
一般	建設事業債 112億5339万円
会計	赤字地方債 96億6896万円
	下水道事業会計 75億5145万円
合計	284億7380万円

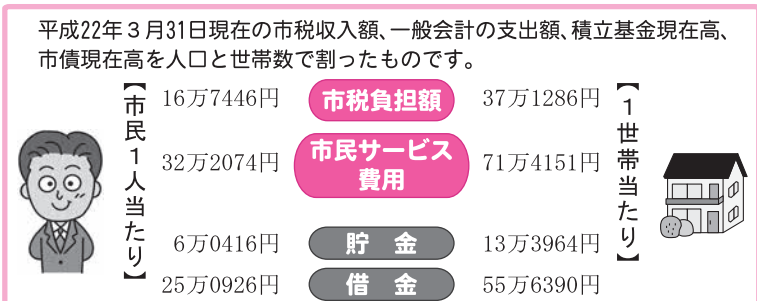
※建設事業債=学校、道路、公園などの公共施設の整備・改修のための借入金
※赤字地方債=財源の不足を補うための借入金

図3 市有財産



市有財産
市が保有する土地や建物などの財産は図3のとおりです。

図4 市民の市税負担額、市民サービス費用、貯金、借金



平成22年3月31日現在の市税収入額、一般会計の支出額、積立基金現在高、市債現在高を人口と世帯数で割ったものです。
※22年3月31日現在 人口:11万3475人(外国人登録を含む) 世帯数:5万1176世帯

市税負担、市民サービスなど

市民の皆さんが納めた市税や固定資産税などの市税負担額とそれに対して市が行う市民サービス費用、また、貯金と借金の1人当たり・1世帯当たりの金額は図4のとおりです。

なお、市民サービス費用は、一般会計の支出額のことです。市税負担額との差額は、国・都からの支出金などで賄われています。

特別会計

特別会計は、特定の事業を行う場合に、その運営や経理を明確にするため、一般会計とは別に収支を管理する会計です。各会計の歳入・歳出予算の執行状況は表3のとおりです。

表3 平成21年度特別会計 歳入・歳出予算の執行状況

会計名	予算現額	収入済額		支出済額	
		金額	(収入率)	金額	(執行率)
国民健康保険	112億5170万円	100億5131万円	(89.3%)	103億1704万円	(91.7%)
老人保健医療	2135万円	2199万円	(103.0%)	2042万円	(95.6%)
介護保険	58億4453万円	55億0242万円	(94.1%)	52億5247万円	(89.9%)
後期高齢者医療	14億7829万円	14億7091万円	(99.5%)	14億2611万円	(96.5%)
下水道事業	27億2894万円	21億9203万円	(80.3%)	24億0415万円	(88.1%)
中神土地画整理事業	5億3960万円	4億8741万円	(90.3%)	3億2526万円	(60.3%)
合計	218億6441万円	197億2607万円	(90.2%)	197億4545万円	(90.3%)

21年度は、景気低迷の影響を受け企業収益や個人所得の減少などにより、歳入の中心となる市税が大幅な減額となりました。今後もこのような厳しい財政環境が続くことが予想される中で、少子化対策や子育て支援、まちづくり事業などさまざまな財政需要に対応するためにも、22年度は14億円の赤字地方債を借り入れざるを得ず、引き続き厳しい財政状況にあります。

しかしながら、市民サービスの維持・向上を図るためにも「第三次中期財政運営計画」(19年度～23年度)に基づき、事務事業の効率化を行い、行財政の健全化に向けた取り組みを進めます。

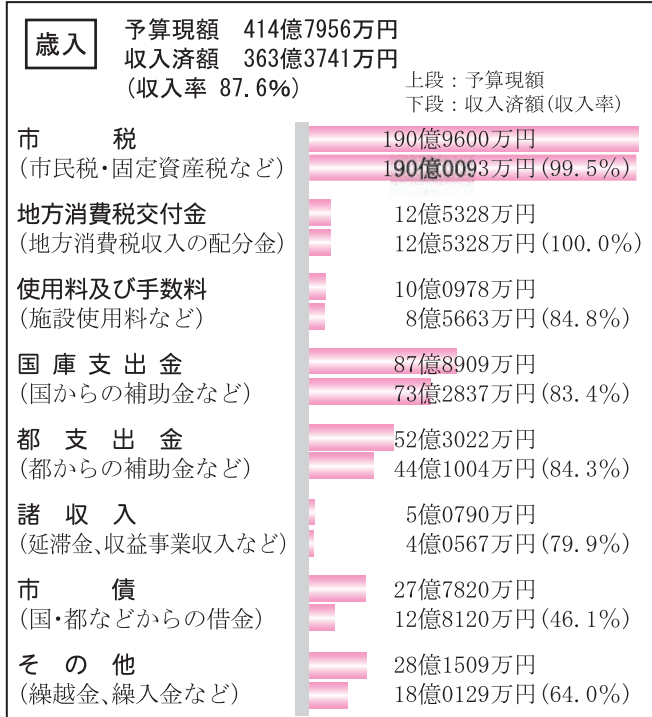
※詳しくは、財政課へ。

行財政の健全化に向けて



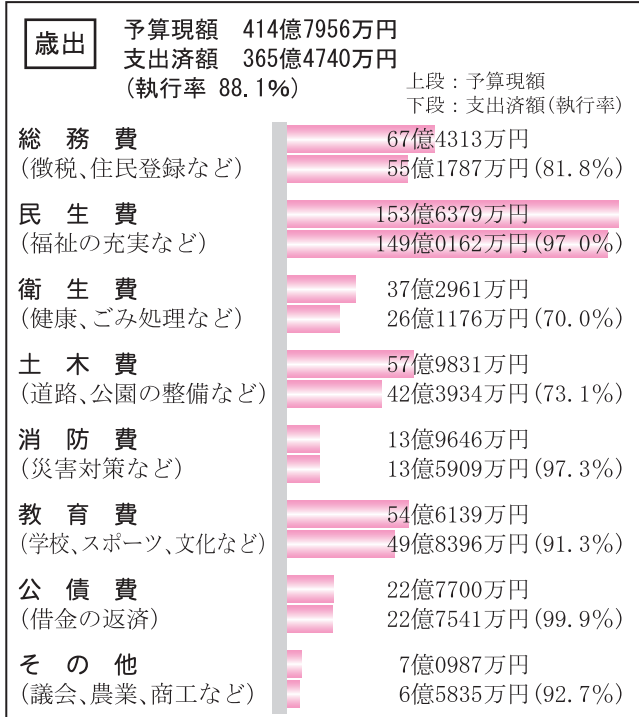
▲整備された富士見公園

図1 平成21年度一般会計 歳入予算の執行状況



※前年度からの繰越財源(20億4166万円)を含みます。

図2 平成21年度一般会計 歳出予算の執行状況



※前年度からの繰越事業費(20億4166万円)を含みます。